

平成27年度第2回 かわさき市民アンケート 概要版

調査の概要

調査設計等	◆調査対象 川崎市在住の満20歳以上の男女個人	◆調査方法 郵送法※インターネット回答との併用
	◆標本数 3,000 標本	◆調査期間 平成27年11月5日(木)～11月26日(木)
	◆標本抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出	◆有効回収数 1,300
		◆有効回収率 43.3%
調査項目	1 定住状況について	5 都市農業の振興について
	2 生活環境の評価について	6 地域を守る消防団員について
	3 関心ごとと行動範囲について	7 サービス産業に対する消費について
	4 市政に対する評価と要望について	

※ 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。また、本文中の「百分率」は小数点第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100にならない場合がある。

調査回答者の属性

1 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	543	41.8
2 女性	732	56.3
(無回答)	25	1.9
合計	1,300	100.0

2 居住区別

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	184	14.2
2 幸区	151	11.6
3 中原区	212	16.3
4 高津区	203	15.6
5 宮前区	201	15.5
6 多摩区	184	14.2
7 麻生区	160	12.3
(無回答)	5	0.4
合計	1,300	100.0

3 回答方法別

	基数(人)	構成比(%)
1 郵送	1,077	82.8
2 インターネット	223	17.2
合計	1,300	100.0

4 性/年代別

	全体		男性		女性		無回答	
	基数(人)	構成比(%)	基数(人)	構成比(%)	基数(人)	構成比(%)	基数(人)	構成比(%)
1 20歳代	108	8.3	43	7.9	65	8.9	-	-
2 30歳代	254	19.5	100	18.4	154	20.1	-	-
3 40歳代	262	20.2	113	20.8	149	20.4	-	-
4 50歳代	231	17.8	99	18.2	132	18.0	-	-
5 60歳代	241	18.5	112	20.6	127	17.3	2	8.0
6 70歳以上	182	14.0	76	14.0	105	14.3	1	4.0
(無回答)	22	1.7	-	-	-	-	22	88.0
合計	1,300	100.0	543	100.0	732	100.0	25	100.0

1 定住状況について

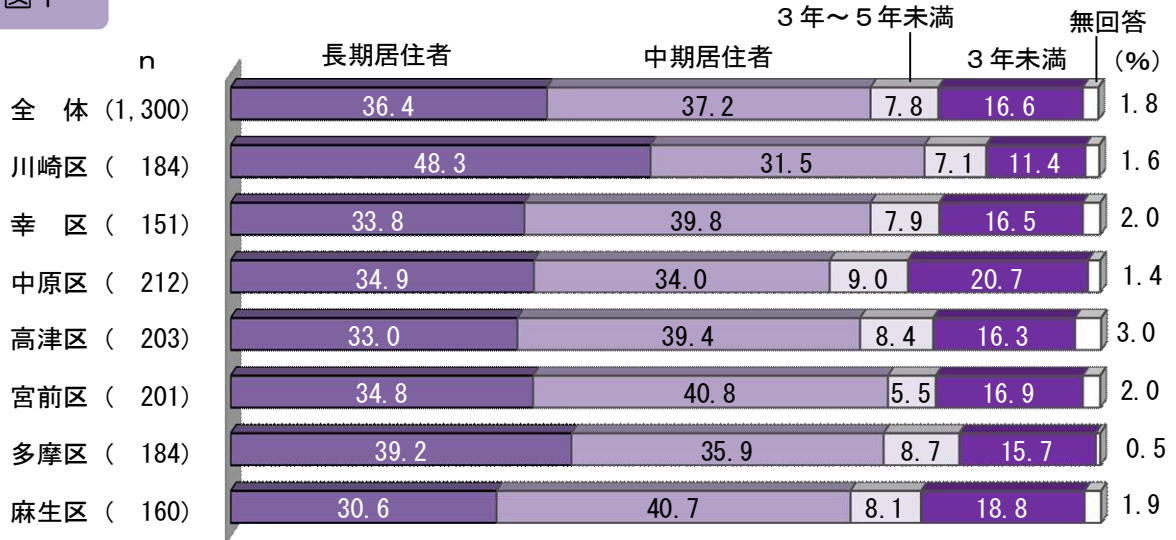
1 居住年数

居住区別でみると、＜長期居住者^{※1}＞は、川崎区（48.3%）で最も高く、次いで、多摩区（39.2%）、中原区（34.9%）の順となっている。＜中期居住者^{※2}＞は、宮前区（40.8%）で最も高く、次いで麻生区（40.7%）、幸区（39.8%）の順となっており、「3年未満」は、中原区（20.7%）で最も高くなっている。

※1 長期居住者：居住年数が20年以上

※2 中期居住者：居住年数が5年以上20年未満

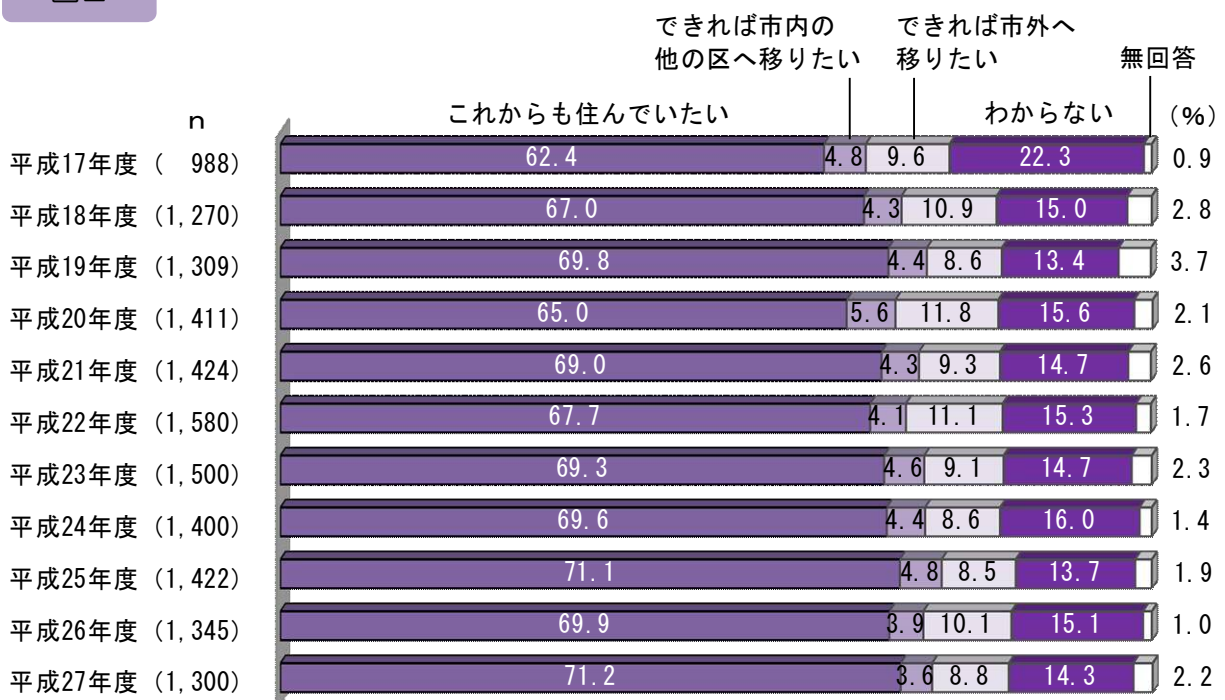
図1



2 定住意向

「これからも住んでいたい」は71.2%となっており、10年前（平成17年度）と比較して8.8ポイント増加している。

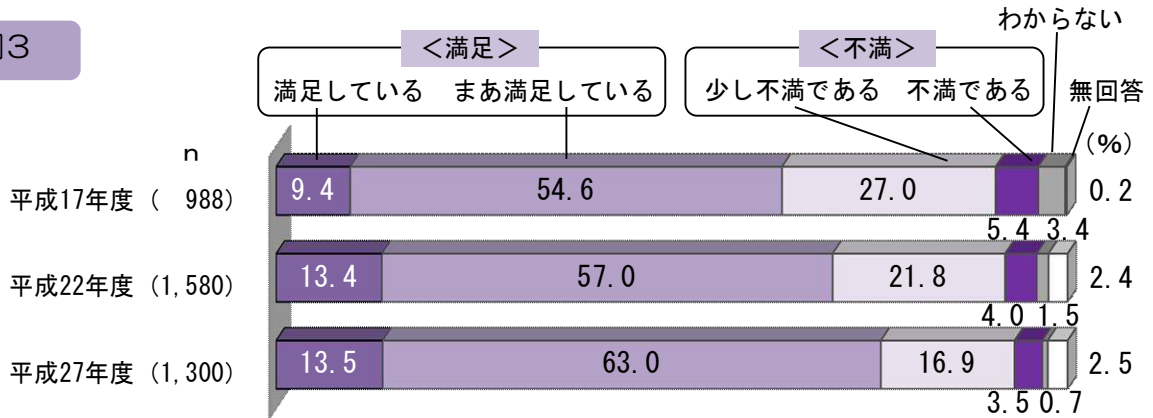
図2



1 総合的な生活環境の満足度

「満足している」(13.5%)と「まあ満足している」(63.0%)を合わせた<満足>は76.5%となっており、5年前(平成22年度)と比較して6.1ポイント、10年前(平成17年度)と比較して12.5ポイント増加している。

図3

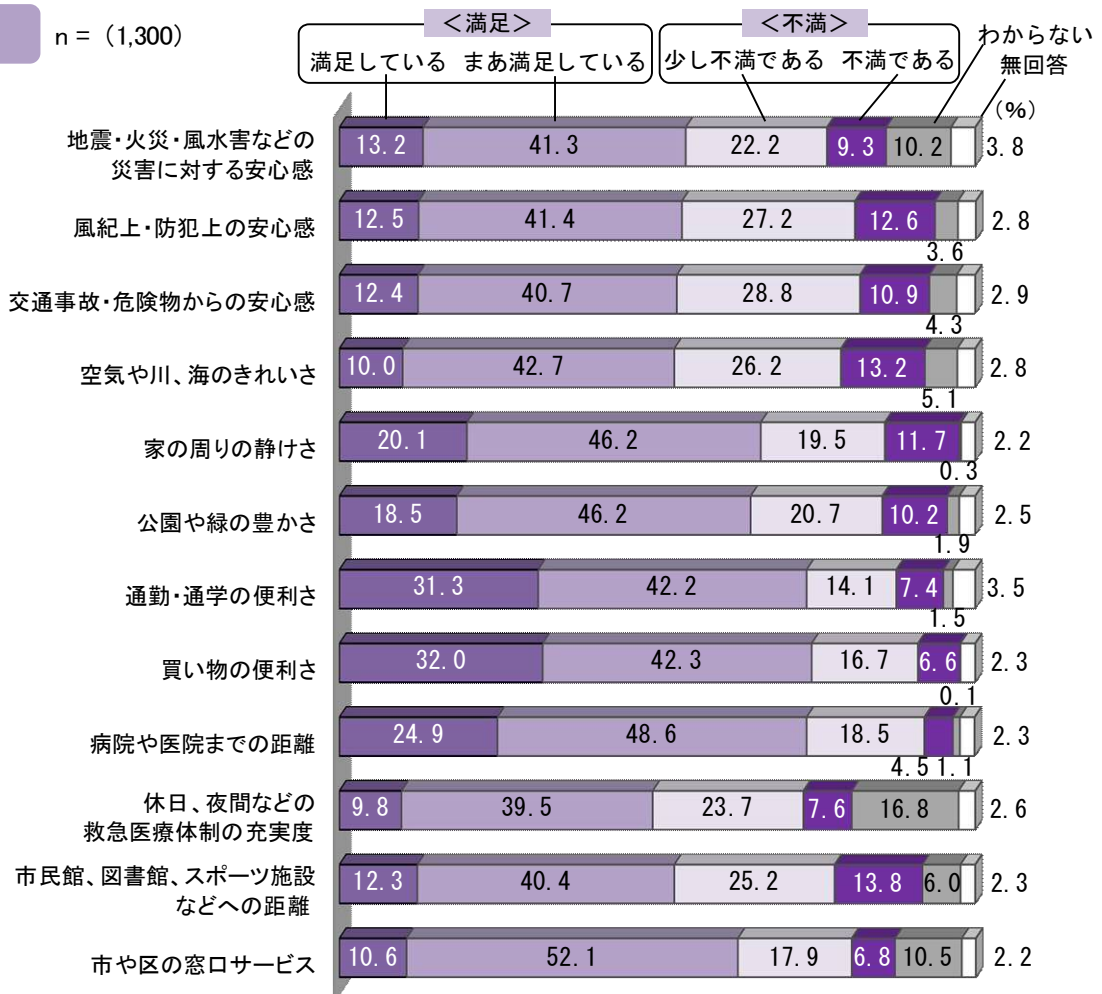


2 生活環境の満足度

「満足している」と「まあ満足している」を合わせた<満足>は、「買い物の便利さ」(74.3%)、「通勤・通学の便利さ」(73.5%)、「病院や医院までの距離」(73.5%)で7割を超えている。

図4

n = (1,300)



1 関心を持っていること

「健康」(70.4%)が最も高く、次いで「家族」(56.9%)、「老後の生活」(53.1%)、「お金・財産」(49.8%)、「仕事(家事や勉強も含む)」(42.5%)、「子ども」(38.2%)、「趣味・娯楽」(37.7%)の順となっている。

過去5年間の上位6項目の推移をみると、「健康」が首位で変わらず、「お金・財産」が第5位から第4位に、「家族」が第3位から第2位に、「老後の生活」が第2位から第3位になったほか、「子ども」が6位に入った。

図5 (複数回答) n = (1,300)

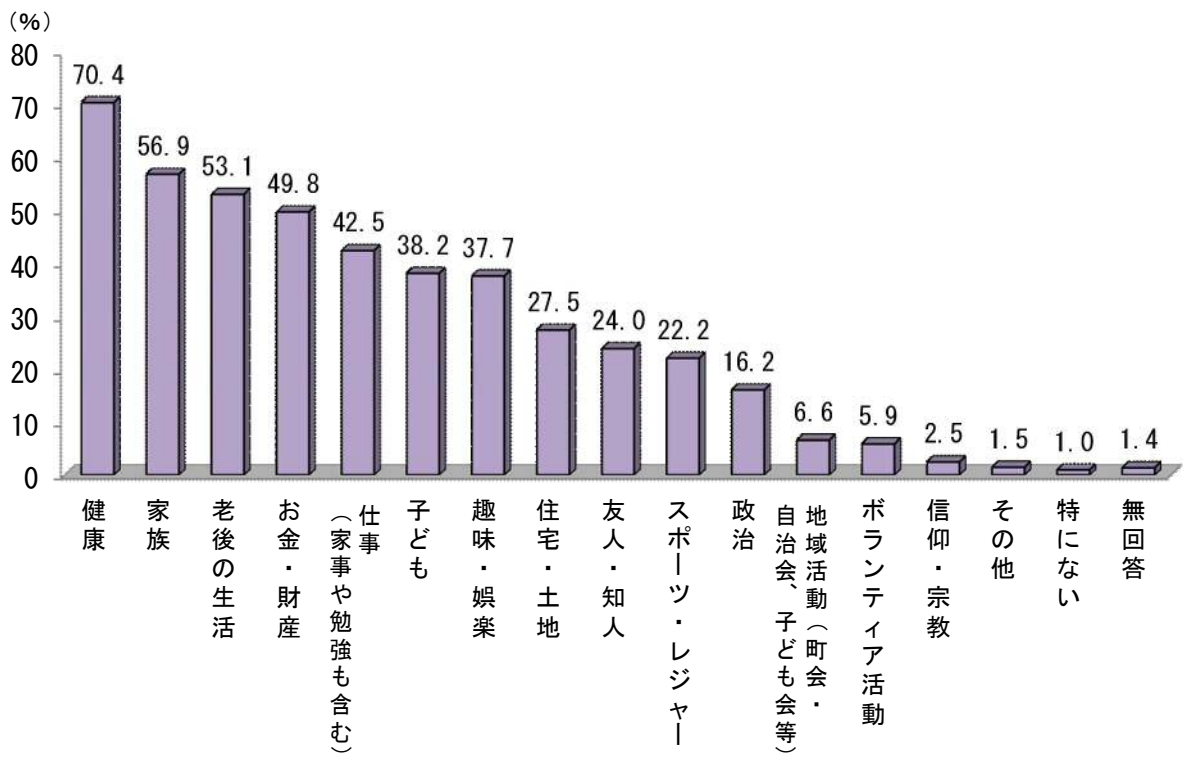


表1 過去5年経年比較(上位6項目)

年度	順位					
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
平成22年度	健康 66.8	老後の生活 49.5	家族 48.2	仕事(家事や勉強も含む) 43.6	お金・財産 41.6	趣味・娯楽 39.7
平成23年度	健康 71.5	老後の生活 53.4	家族 47.9	仕事(家事や勉強も含む) 41.5	お金・財産 40.3	趣味・娯楽 39.1
平成24年度	健康 66.5	老後の生活 52.6	家族 48.4	仕事(家事や勉強も含む) 44.1	お金・財産 41.4	趣味・娯楽 41.1
平成25年度	健康 67.2	老後の生活 52.4	家族 46.2	仕事(家事や勉強も含む) 41.8	趣味・娯楽 40.3	お金・財産 39.2
平成26年度	健康 67.8	老後の生活 50.9	家族 49.8	仕事(家事や勉強も含む) 45.3	お金・財産 43.3	趣味・娯楽 39.0
平成27年度	健康 70.4	家族 56.9	老後の生活 53.1	お金・財産 49.8	仕事(家事や勉強も含む) 42.5	子ども 38.2

2 行楽・文化施設の利用・ショッピングの場所

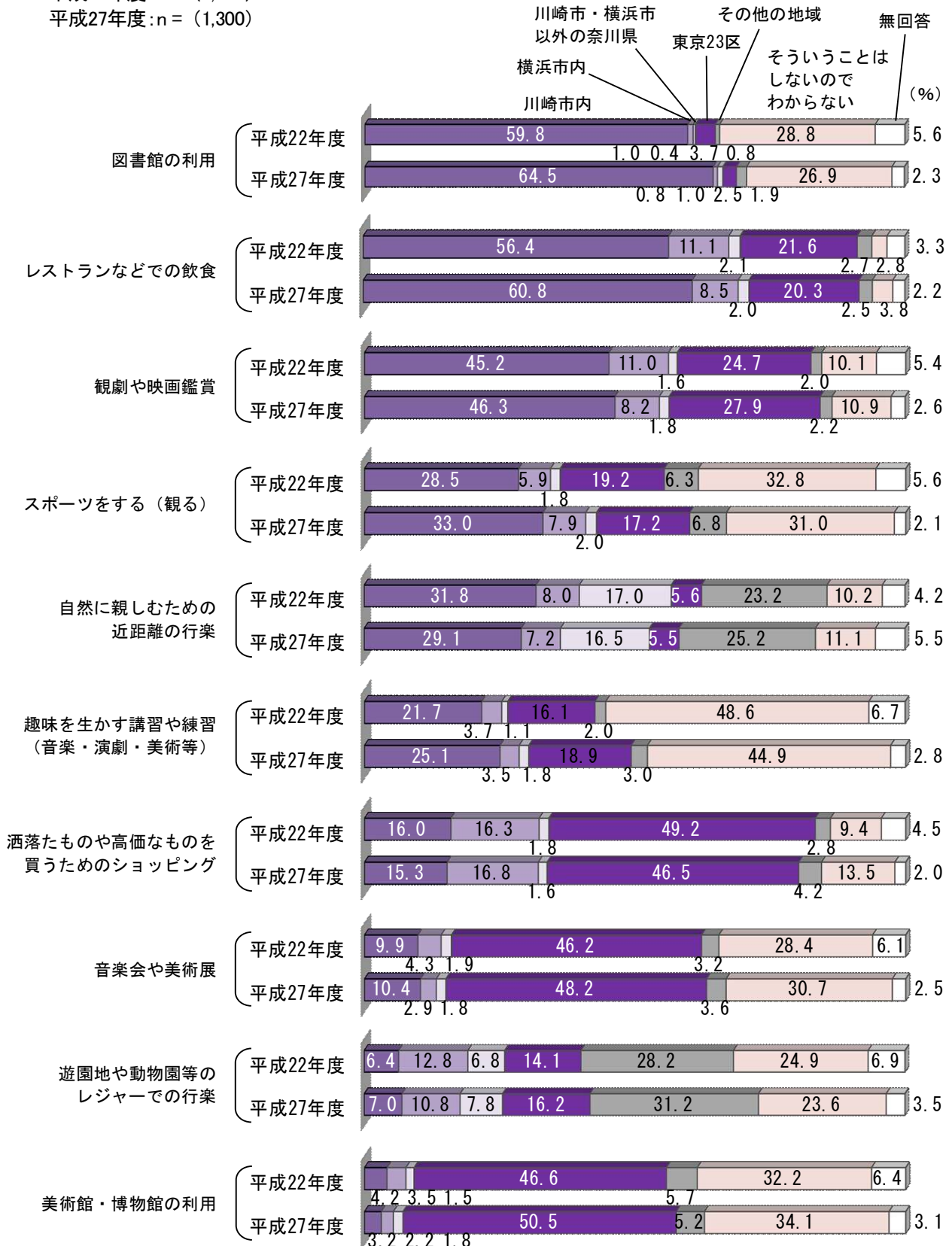
『川崎市内』の利用率が最も高いのは「図書館の利用」(64.5%)で、次いで「レストランなどでの飲食」(60.8%)、「観劇や映画鑑賞」(46.3%)、「スポーツをする(観る)」(33.0%)、「自然に親しむための近距離の行楽」(29.1%)の順となっている。

5年前(平成22年度)と比較すると、「図書館の利用」で4.7ポイント増加している。

図6

平成22年度:n=(1,580)

平成27年度:n=(1,300)



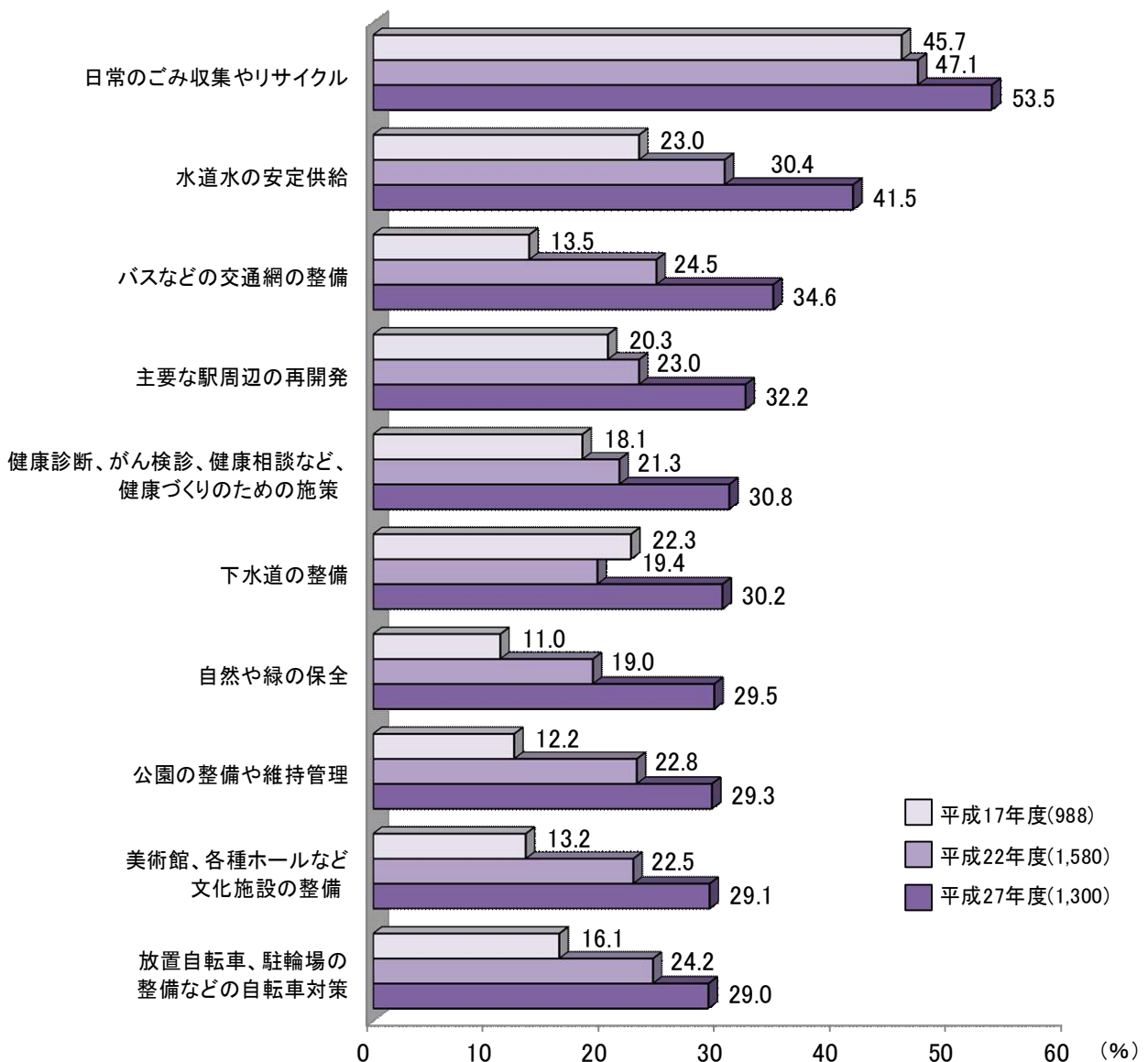
1 市政の仕事でよくやっていると思うこと

「日常のごみ収集やリサイクル」(53.5%)が最も高く、次いで「水道水の安定供給」(41.5%)、「バスなどの交通網の整備」(34.6%)、「主要な駅周辺の再開発」(32.2%)、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」(30.8%)、「下水道の整備」(30.2%)の順となっている。

5年前(平成22年度)と比較すると、「水道水の安定供給」で11.1ポイント、「下水道の整備」で10.8ポイント、「自然や緑の保全」で10.5ポイント、「バスなどの交通網の整備」で10.1ポイント増加している。

10年前(平成17年度)と比較すると、「バスなどの交通網の整備」で21.1ポイント、「自然や緑の保全」で18.5ポイント、「公園の整備や維持管理」で17.1ポイント増加している。

図7 (複数回答、上位10項目、平成27年度・平成22年度・平成17年度との比較)



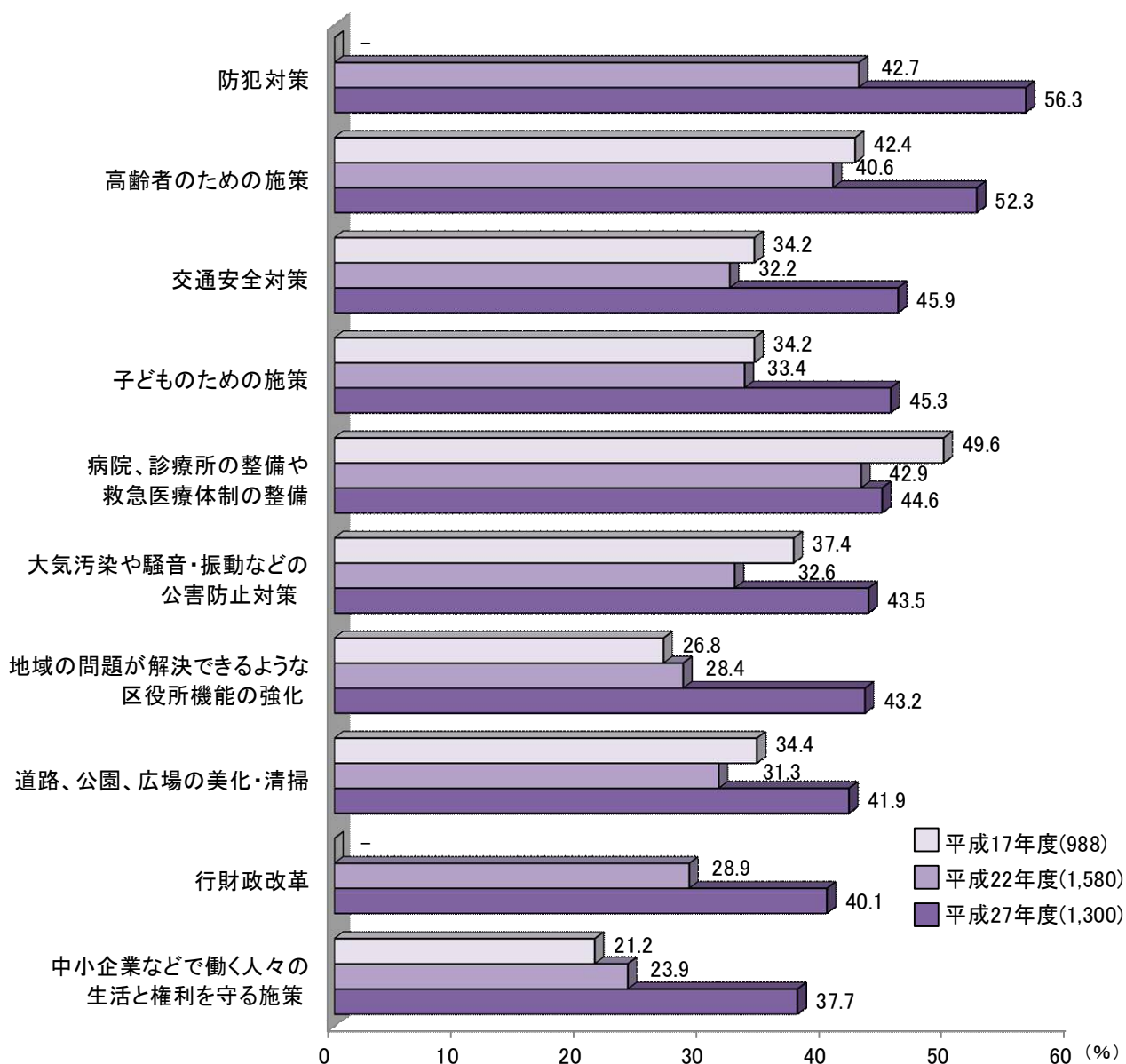
2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

「防犯対策」(56.3%)が最も高く、次いで「高齢者のための施策」(52.3%)、「交通安全対策」(45.9%)、「子どものための施策」(45.3%)、「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」(44.6%)の順となっている。

5年前(平成22年度)と比較すると、「地域の問題が解決できるような区役所機能の強化」で14.8ポイント、「中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策」で13.8ポイント、「交通安全対策」で13.7ポイント、「防犯対策」で13.6ポイント増加している。

10年前(平成17年度)と比較すると、「中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策」で16.5ポイント、「地域の問題が解決できるような区役所機能の強化」で16.4ポイント、「交通安全対策」で11.7ポイント、「子どものための施策」で11.1ポイント増加している。一方、「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」で5.0ポイント減少している。

図8 (複数回答、上位10項目、平成27年度・平成22年度・平成17年度との比較)

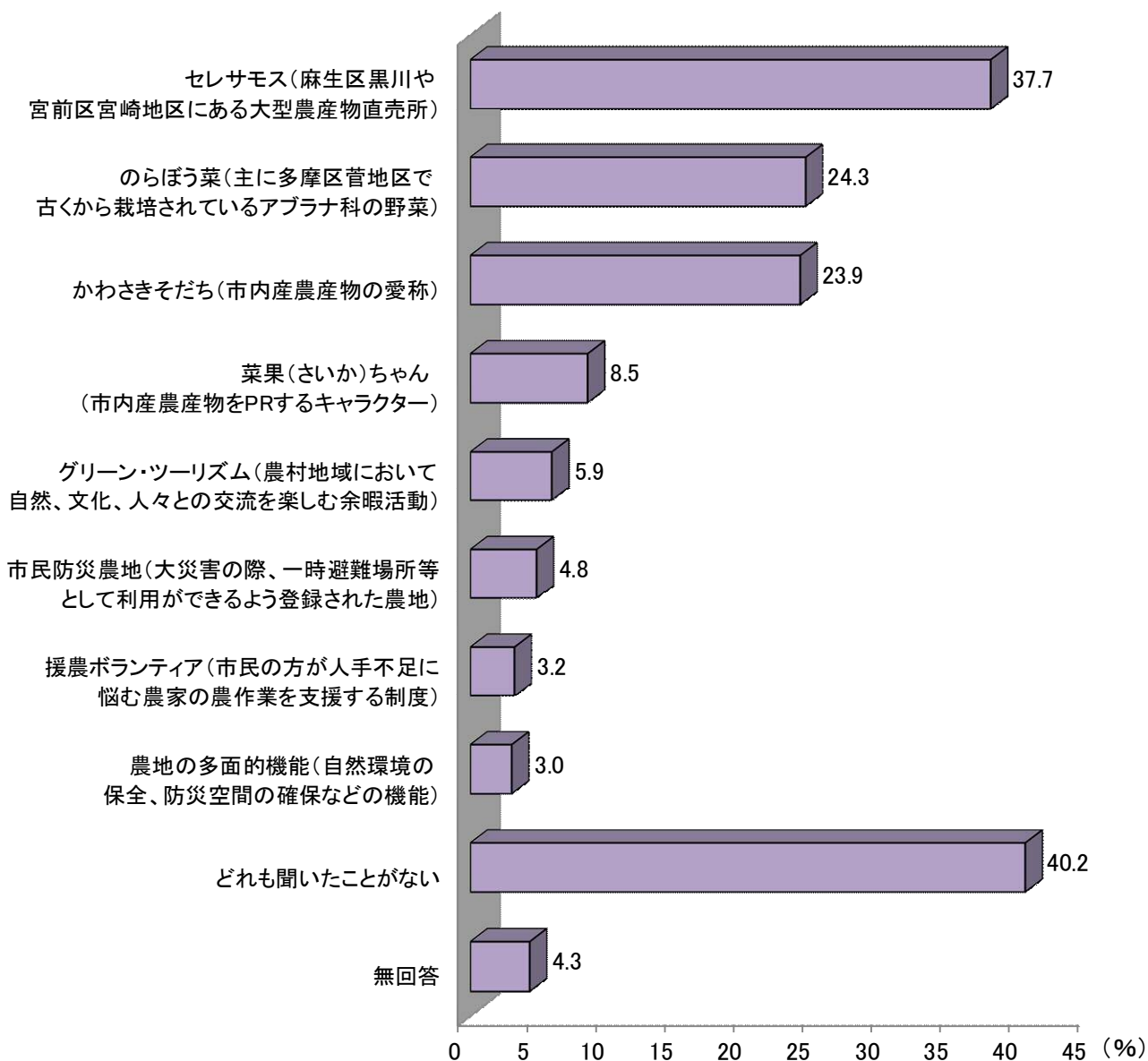


※平成17年調査では、「防犯対策」、「行財政改革」の選択肢はなかった。

1 川崎の農業に関する言葉の認知度

「セレスモス（麻生区黒川や宮前区宮崎地区にある大型農産物直売所）」（37.7%）が最も高く、次いで「のらぼう菜（主に多摩区菅地区で古くから栽培されているアブラナ科の野菜）」（24.3%）、「かわさきそだち（市内産農産物の愛称）」（23.9%）の順となっている。

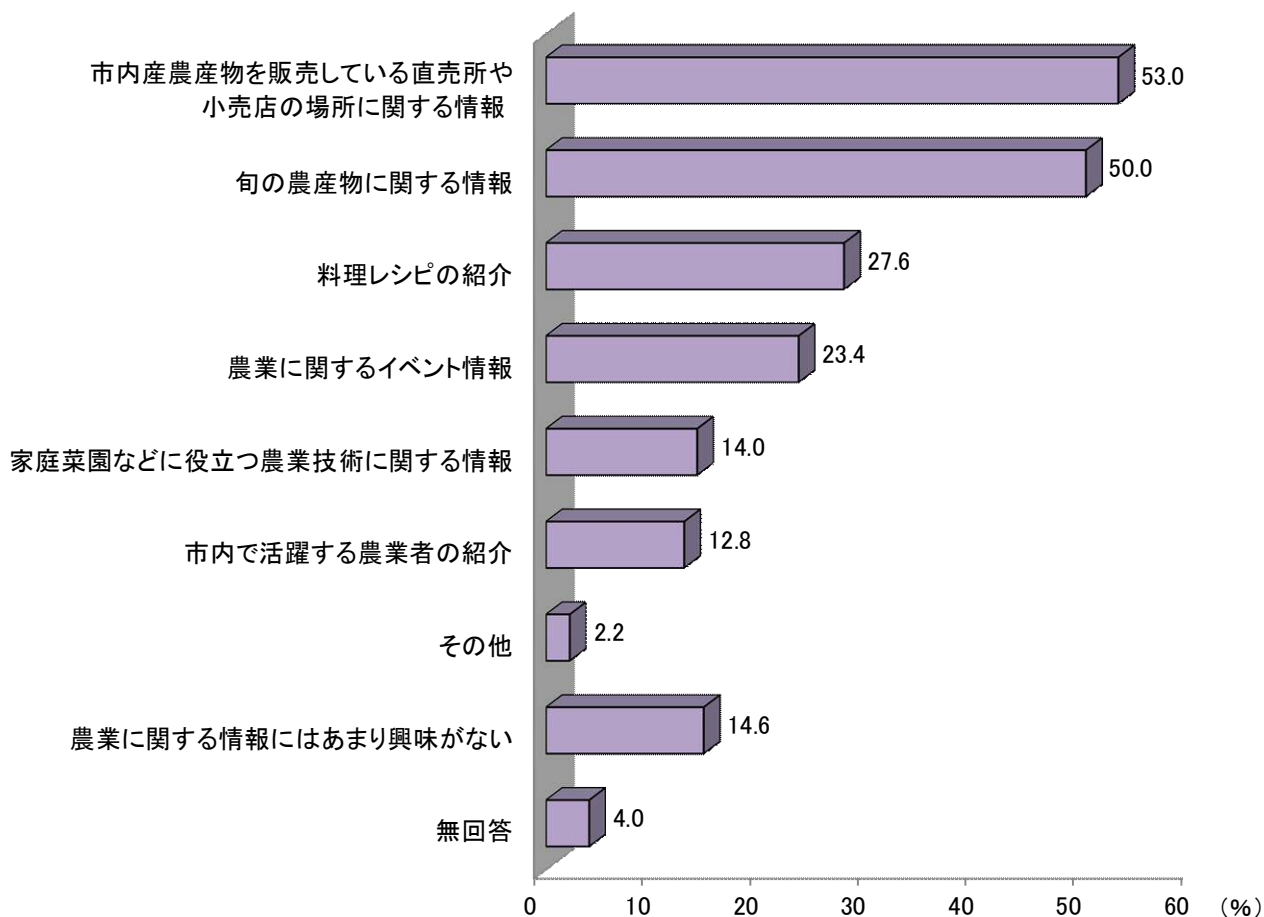
図9 （複数回答）n = (1,300)



2 川崎の農業に関する興味のある情報

「市内産農産物を販売している直売所や小売店の場所に関する情報」(53.0%)が最も高く、次いで「旬の農産物に関する情報」(50.0%)、「料理レシピの紹介」(27.6%)、「農産に関するイベント情報」(23.4%)の順となっている。

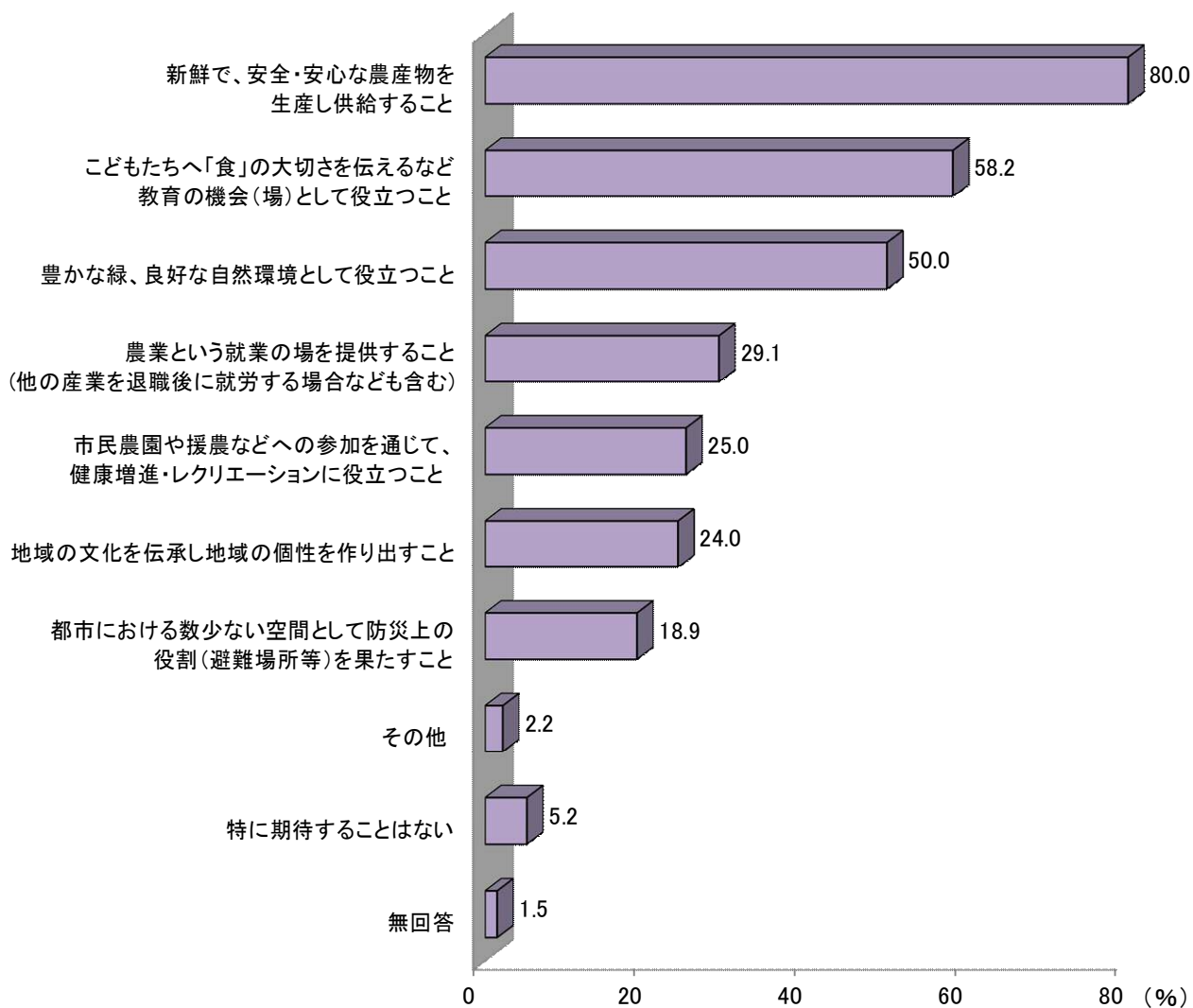
図10 (複数回答)n = (1,300)



3 川崎の農業に期待すること

「新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給すること」(80.0%)が最も高く、次いで「子どもたちへ「食」の大切さを伝えるなど、教育の機会(場)として役立つこと」(58.2%)、「豊かな緑、良好な自然環境として役立つこと」(50.0%)の順となっている。

図11 (複数回答)n = (1,300)

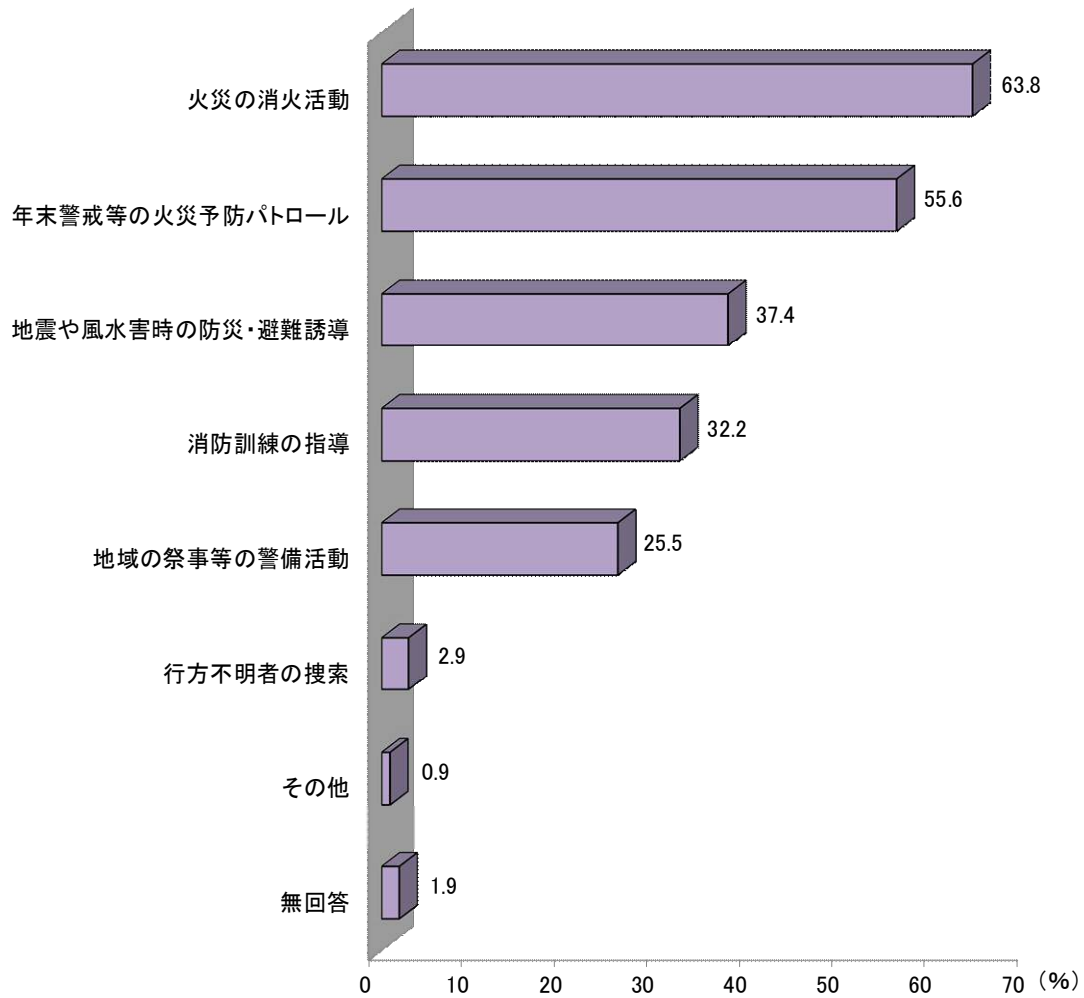


6 地域を守る消防団員について

1 消防団の活動のうちイメージが強い活動

「火災の消火活動」(63.8%) が最も高く、次いで「年末警戒等の火災予防パトロール」(55.6%)、「地震や風水害時の防災・避難誘導」(37.4%) となっている。

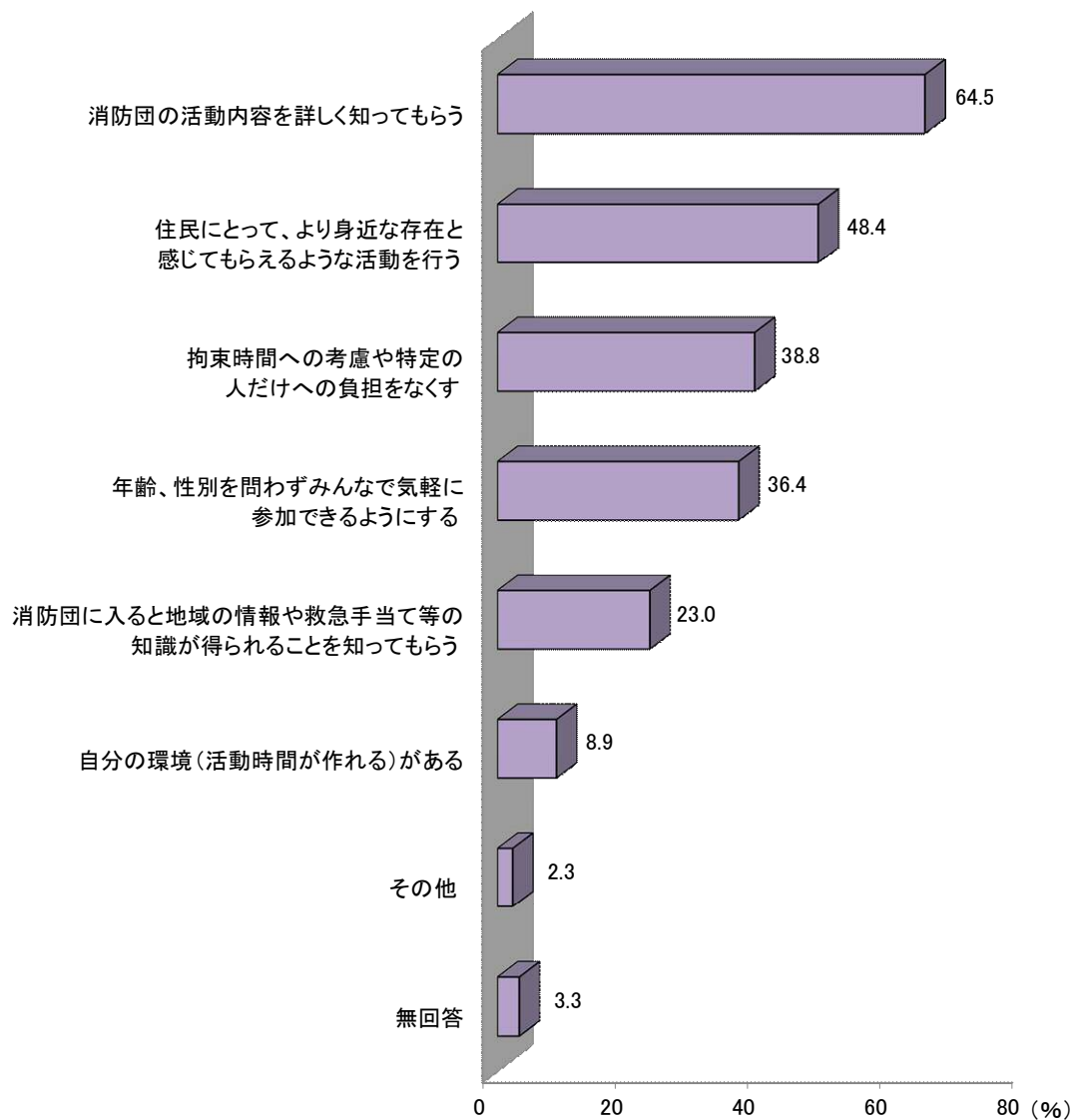
図12 (複数回答)n = (1,300)



2 地域でもっと多くの人に入団してもらうために必要なこと

「消防団の活動内容を詳しく知ってもらう」(64.5%) が最も高く、次いで「住民にとって、より身近な存在と感じてもらえるような活動を行う」(48.4%)、「拘束時間への考慮や特定の人だけへの負担をなくす」(38.8%)、「年齢、性別を問わずみんなで気軽に参加できるようにする」(36.4%) の順となっている。

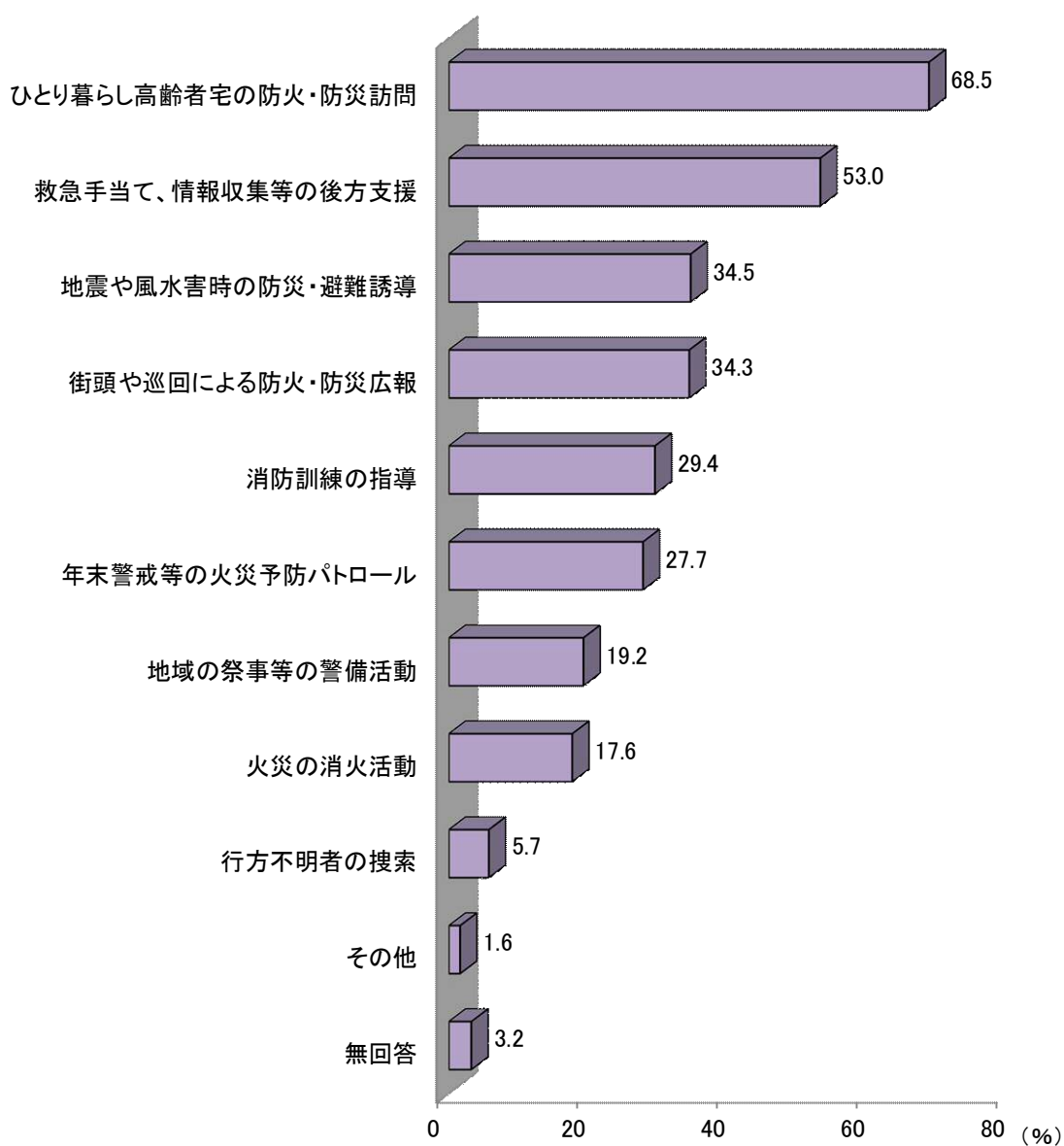
図13 (複数回答)n = (1,300)



3 女性消防団員に期待する活動

「ひとり暮らし高齢者宅の防火・防災訪問」(68.5%)が最も高く、次いで「救急手当て、情報収集等の後方支援」(53.0%)、「地震や風水害時の防災・避難誘導」(34.5%)、「街頭や巡回による防火・防災広報」(34.3%)の順となっている。

図14 (複数回答)n = (1,300)



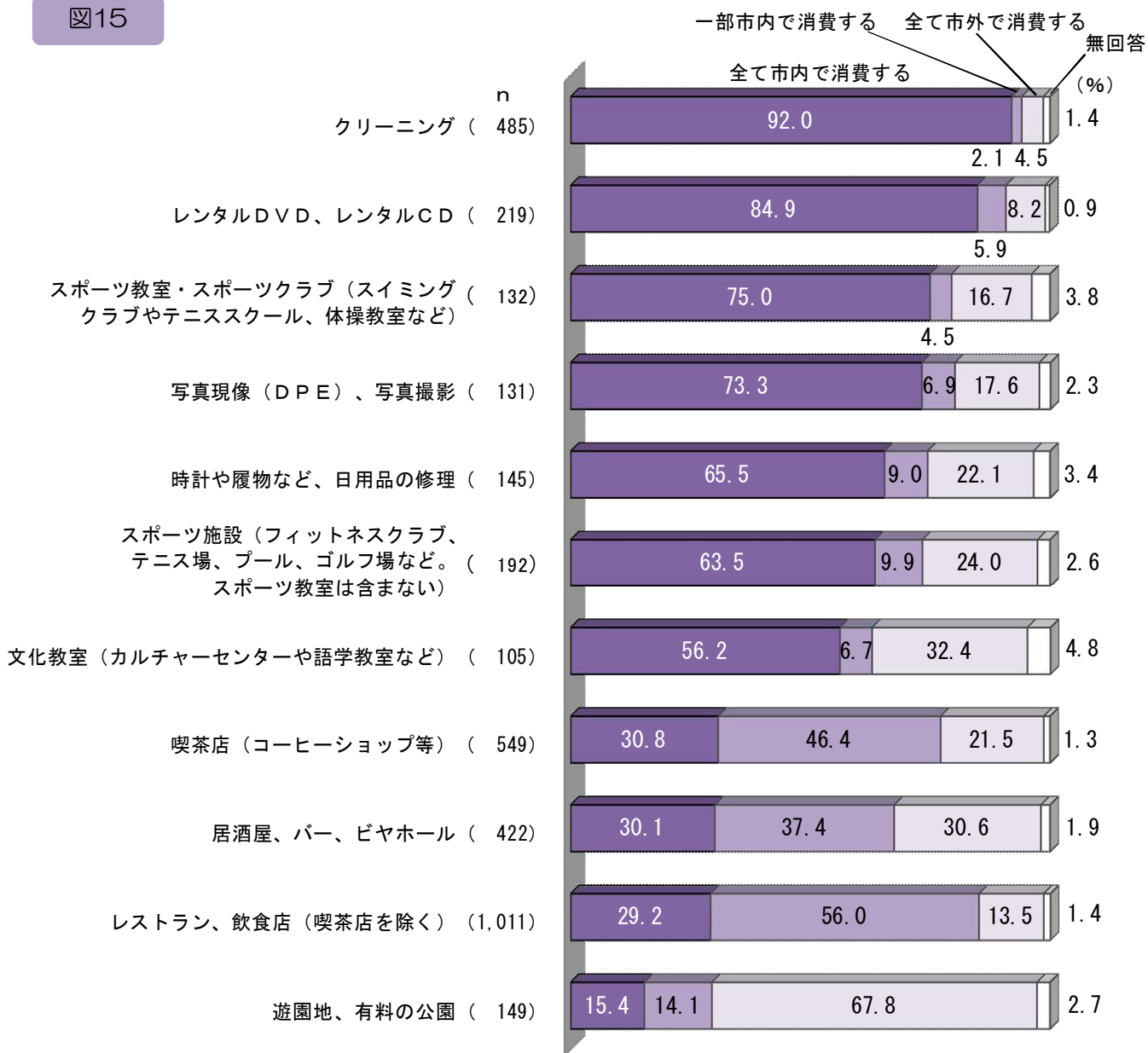
1 1か月間の市内での消費状況

【全て市内で消費する】では、「クリーニング」(92.0%)が最も高く、次いで「レンタルDVD、レンタルCD」(84.9%)、「スポーツ教室・スポーツクラブ(スイミングクラブやテニススクール、体操教室など)」(75.0%)と「写真現像(DPE)、写真撮影」(73.3%)の順となっている。

【一部市内で消費する】では、「レストラン、飲食店(喫茶店を除く)」(56.0%)が最も高く、次いで「喫茶店(コーヒーショップ等)」(46.4%)、「居酒屋、バー、ビヤホール」(37.4%)の順となっている。

【全て市外で消費する】では、「遊園地、有料の公園」(67.8%)が最も高く、次いで「文化教室(カルチャーセンターや語学教室など)」(32.4%)、「居酒屋、バー、ビヤホール」(30.6%)の順となっている。

図15



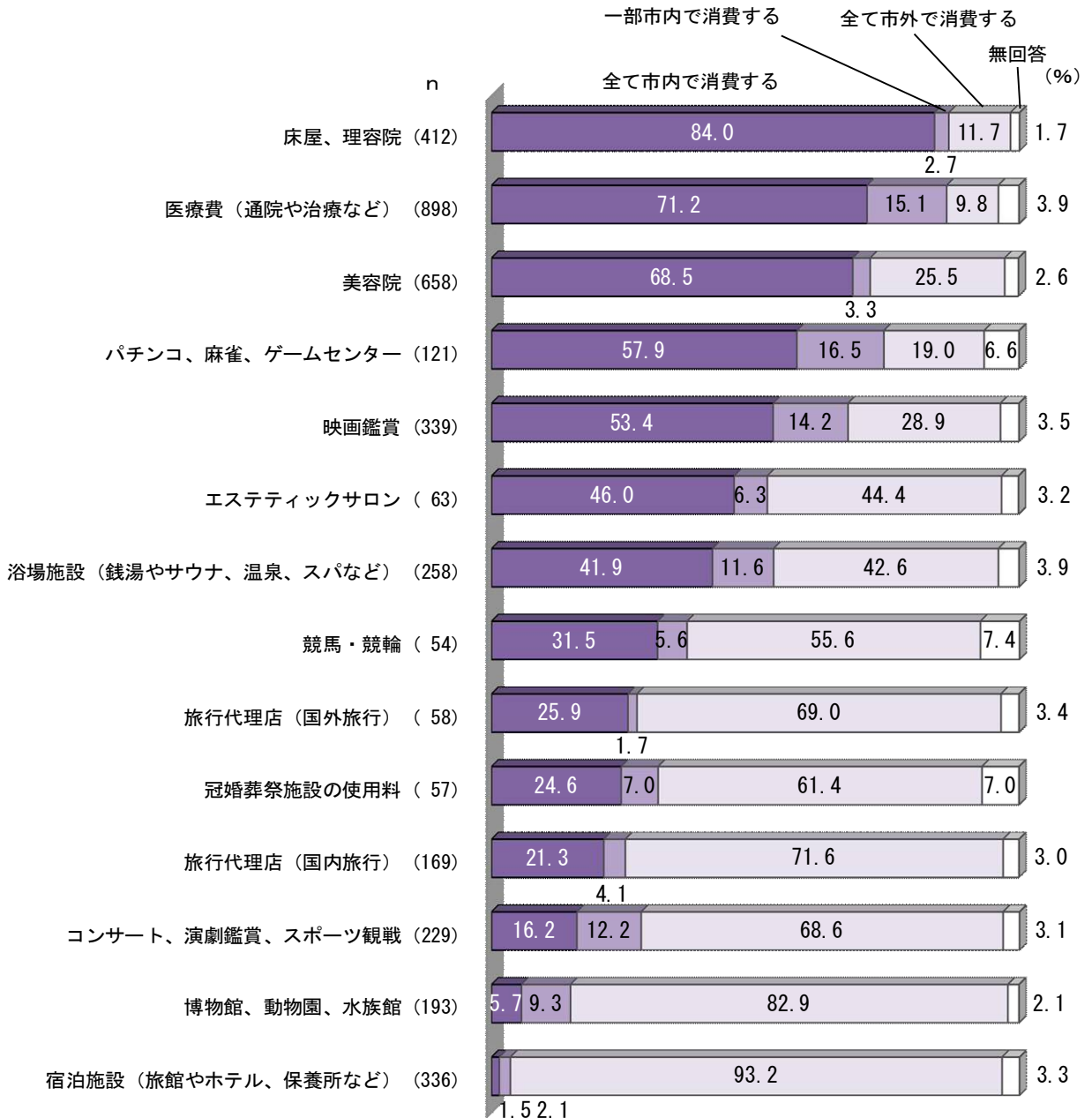
2 半年間の市内での消費状況

【全て市内で消費する】では、「床屋、理容院」（84.0%）が最も高く、次いで「医療費（通院や治療など）」（71.2%）、「美容院」（68.5%）の順となっている。

【一部市内で消費する】では、「パチンコ、麻雀、ゲームセンター」（16.5%）が最も高く、次いで「映画鑑賞」（14.2%）の順となっている。

【全て市外で消費する】では、「宿泊施設（旅館やホテル、保養所など）」（93.2%）が最も高く、次いで「博物館、動物園、水族館」（82.9%）、「旅行代理店（国内旅行）」（71.6%）の順となっている。

図16



平成27年度第2回かわさき市民アンケート概要版
平成28年3月

発行 川崎市総合企画局自治推進部
〒210-8577

川崎市川崎区宮本町1番地

電 話 044-200-2168 (直通)

F A X 044-200-3800